

血管カテーテルに最新鋭の血管造影装置

—広がる検査・治療の領域—

城西病院は2022年10月、血管カテーテル検査・治療に最新の血管造影装置（アンギオグラフィー）を導入しました。7年前に循環器血管の検査・治療のために血管カテーテル装置を導入しましたが、今回、最新のアンギオグラフィーを導入することにより、検査・治療時間が短縮されて使用する造影剤がこれまでの半分の量ですむために、患者さまの負担を軽減することができます。また、撮影する範囲がこれまでの倍になり、広い術野が必要となる脳血管や腹部血管など、幅広い領域の検査・治療に対応することが期待されています。

従来は、X線を照射するC型アームを一本持つモノプレーンという構造でしたが、新しいアンギオグラフィーは、C型アームが2本になったバイプレーンという構造になっています。このため、2本のC型アームで同時にX線を照射することができるために、照射時間が半分ですみます。また、照射範囲が広くなり、これまで以上に脳血管の検査・治療が行いやすくなり、腹部血管にも対応することができます。

10月3日には多田正毅会長らがテープカットで新装置の導入を祝い、翌4日には脳の検査・治療、10月17日には循環器の検査・治療が行われました。

2022年10月20日



循環器血管の検査・治療



脳血管の検査・治療

